



さくら物語 夢の桜街道®

Members magazine 2016 vol.18

Contents

ごあいさつ…1

美しい山形を未来の子どもたちへ
～美しい山形・最上川フォーラムの取り組み～…2～6
コラム サクラを上手に育てるためのポイント…3

東日本大震災復興支援プロジェクト 東北・夢の桜街道…4
地域から発信！元気な山形づくり ～地域部会活動～…7
フォーラム会員募集…7
フォーラム応援企業・団体…8

題 字：原田桂風 <21年度山形県総合書道展「山形県教育委員会賞」受賞者>
表紙写真：石山利勝「朝のシダレ桜」(金山町)<第2回夢の桜街道写真コンテスト>

【ごあいさつ】

平成27年度における「美しい山形・最上川フォーラム」の活動を会員の皆さまにご報告いたします。

清流・環境対策部会、最上川文化・地域経済活性化部会ともに、皆さまの参加・協力により年度当初に立てた活動計画を実施することができました。3年目になる「スポーツGOMI拾い」の実施も4月の川西町、5月の金山町など県内各地で24回も開催しました。140名の参加者で実施された7月の河北町など参加者数の多い大会もありました。参加された子どもさんたちが、環境に対する興味や関心を持ち、最新の問題・課題解決に知恵を出していただけるように期待をしています。

最上川夢の桜街道づくり活動においては、「全県的な桜守育成」技術研修会を広め、各地域での桜守の養成と、参加者の情報

美しい山形・最上川フォーラム 会長 柴田 洋雄

交換、ネットワーク作りへと発展させていきたいと考えています。

地域部会については、組織の強化を図るため副部会長の導入を進め各地域の特性や会員のニーズに合わせた主体的な活動が展開されるよう、引き続き検討していきます。

フォーラムの会員の状況は、若干(13名)減少しましたが、27年12月末日現在で4,213名です。

平成28年度においては、これまでの活動に加え、国土交通省の河川協力団体としての役割、東北・夢の桜街道推進協議会での「東北酒蔵街道」づくりの実施、もり・まち・かわ・うみを結ぶ「全国川ごみネットワーク」への参加など「美しい山形・最上川フォーラム」の活動・役割は重要性を増していくものと思います。会員の皆さまの支援と積極的な協力をお願いいたします。



桜を守る

美しい山形・最上川フォーラムは、母なる最上川を次の世代に引き継ぐために、人びとが交流し合い、生きがいを持って快適に暮らしていくことができる山形を作るために、平成13年の発足以来、県民の皆さまと共に活動を続けてきました。

平成15年より、県内全市町村へ要望調査を実施し、桜の植樹、維持管理活動の支援、桜守の育成などの「最上川夢の桜街道づく

り」支援事業を行っています。これまでの活動に加え、平成27年度からは樹木医による相談事業を開始しました。

米沢市、天童市、新庄市、他2団体の相談を受け、診断、維持管理計画の立案、桜守育成研修会の企画を行いました。



【実施市町村】

米沢市

場所：米沢市西部公園・松が岬公園

樹齢60年ほどのソメイヨシノが公園周囲に生育し、市民の運動や交流の場になっている西部公園、様々な樹木が、城址や建物郡と一体となり、四季折々に趣のある緑の景観を醸し出す松が岬公園、2カ所の調査を実施。積雪による生育環境への支障、土壌の状況調査、桜の活性化と既存樹を含む公園全体の景観を維持するための相談を行いました。桜の育成などを通して、市民の活動の輪を広げるための植樹や仕組みづくりに、最上川フォーラムもお手伝いをし、取り組んでいきます。



天童市

場所：天童公園

春は桜、秋は紅葉の名所として多くの市民や観光客に親しまれている公園です。特に桜の時期には大迫力の人間将棋も行われ、毎年多くの人でにぎわいます。公園内に植栽されている桜の生育の衰えが目立ち始めていたため、衰退状況の把握、原因の究明、桜の再生に向けて調査、提案を行いました。市では調査資料を元に、年次計画作成を順次進めています。



新庄市

場所：新庄市エコロジーガーデン

月に1度開催されるマルシェや様々なイベントで多くの人が訪れ、親しまれている自然豊かな施設。敷地内には、旧新庄支庁庁舎の建物郡があり、国の登録有形文化財に指定されています。市と園内の施設整備担当者が参加し、樹木管理の仕方について実地研修を行いました。園内全体の景観維持、健やかな樹木の成長のため、種類ごとに特性や管理方法、剪定時期を具体的に指導し、年間を通じた作業スケジュール等についても提案。実施後は、年間計画を組み、効率的に管理業務ができるようになっています。



桜の調査を行って

心のふるさと新井田川の会 会長 原田 清廣

酒田市内を流れている新井田川の本流と支流の幸福川・豊川の桜並木について、健康診断をしていただきました。

本流は市街地を貫流しており、左岸堤防と堤防脇の公園に合わせて約430本の桜があります。手の届く範囲で剪定や枯れ枝の処理などを行っています。市街地流域の治水工事が大々的に行われたのは50年以上も前のことなので、古い桜は50年以上にもなります。全体的に生育不良の所があり、場所によっては幹が15cm程になってから枯れる所もあります。それは地下の土壌環境に問題があるようです。これまで見事に咲いていたのに、ここ数年、花付きも葉の繁りも薄くなり梢に枯れ枝があり、診断の結果は、場所によってはかなり厳しい評価でした。

平成16年に植栽した支流の幸福川と豊川の桜は、順調に育っているとの診断ですが、テングス病が数本見つかりました。

新井田川は真正面に鳥海山を背景としており、桜が満開で晴れた日は素晴らしい景観です。屋形船も上り、観桜カヤックツーリングも開催されています。この環境を大切にし、市民の憩いの場また観光資源として、川沿いの桜並木を立派に整備して行きたいと思っています。桜守を育て、中長期的な整備計画をたてる必要があります。そのため診断の結果を、行政、地域の方々との話し合いの資料として活用していきたいと思っています。



未来へ繋げよう、美しい山形を 山形信用金庫

山形信用金庫は『美しい山形・最上川フォーラム』の発足以来、私たちの「美しい山形」を守るべく、微力ながら様々な活動に協力させていただいております。

山形市の霞城公園や馬見ヶ崎さくらライン、上山市の月岡公園など、素晴らしい桜の名所をいつまでも守り続けていきたいとの想いから、役員一丸となって「東北・夢の桜街道」支援に伴う清掃活動を毎年行っております。

また、「美しい桜に対する関心を持ち続けてほしい」との想いから、営業区域内的幼稚園・保育園・小学校の皆さんの協力を得て、「さくら咲く・美しい山形」と題し、桜の絵画展を実施いたしました。

桜に対する優しく温かい想いを表現していただき、展示を行った営業店のロビーが大変華やかな場となりました。ご協力いただいた皆さんには、ささやかではありますがプレゼントもご用意いたしました。

来店されたお客さまからも、「心がほっこり温まるね」「カラフルで楽しそうな絵だね」などと好評を得ており、今後とも長く続けて行くイベントの一つと位置付けております。

これからも、山形信用金庫とお客さまが共に支えあって支援しつつ、「美しい山形」がより発展されることを願っております。





桜守を育てる

県内に春の訪れを告げてくれる美しい桜。厳しい冬を乗り越えて咲く花の姿は、私たちに感動を与えてくれます。桜の健やかな成長は、市町村、地域の皆様の年間を通じた継続的な維持管理によってもたらされています。美しい姿を未来につなぐために、フォーラムでは「桜守」育成研修会を行っています。

美しい桜を地域の宝に

我が下山地区は、舟運の最難所として恐れられた五十川峡谷の入り口、黒瀧、つぶて石、あゆ茶屋のある景勝地です。

本会は、平成21年春、美しい山形・最上川フォーラムの後援によって、桜18本を植樹する計画の中で、区の組織として誕生しました。初仕事が植樹の課題でした。一番大切に考えたのは「健康で伸びやかに育てたい」ということでした。請負いの造園屋さんと相談の上で、土づくりから植込みまで私共の手で行うことにしました。言うまでもなく「健康で伸びやかに育てる」ためには最善の自助努力をしたいたがためでした。21年春に堆

下山ロマン街道の会 区長 安部 昭

肥を1本当たり70kg、バックフォーで半径3~4mに深耕混入し、排水性を確保する対策を施した上で6か月後の11月に植樹しました。以来、26名による「ロマン街道の会」の活動計画に従ってロマン街道(フットパス)と桜の下草刈りを年5回、堆肥、見廻りと害虫駆除を行っています。

今年は植えて7年目の春を迎えますが、願いどおり「元気に伸びやかに」育っている姿を眺めただけでも元気がもらえます。つい触ってみたいくなるこの頃です。

4月24日は、区民あがての観桜会になります。木の成長と共に年々盛り上がりつつあることに感謝です。



桜守育成研修会に参加して 遊学の森案内人会 三上 重幸

サクラは、周りとの調和と控えめさをその身に纏いながら、時期が過ぎれば静かに散っていく、その、何とも言いえない融和を求める姿の裡に、『やまとの心』はずっと、息づいてきたのだと思います。そして、今回の研修でサクラを守り育

ることが『やまとの心』を継承していくことに繋がっているのだと再認識いたしました。

これからは、テングス病の勉強会だけでなく市町村と連携し、防除まで出来るよう微力ながらサポートしていきたいと思ひます。



県内全域に桜を守り育てる「桜守」の輪を広げ、情報交換や交流の機会を増やしていくと、28年度、フォーラムでは桜守認定講座やネットワークづくりの支援を進めていきます。お近くの講座へ、足を運んでみませんか。

※講座の開催予定等については決まり次第、美しい山形・最上川フォーラムHPにて掲載します。

サクラを上手に育てるためのポイント — 剪定について —

樹木医 山田 寛爾

剪定とは、ただ単に枝を切るということではなく、サクラの特性などを考慮しながら樹形を整え、生育を良好にすることです。一般に「整枝剪定」あるいは「整姿剪定」と呼ばれています。以前までは、「サクラ切る馬鹿、ウメ切らぬ馬鹿」と言われ、サクラの剪定は行われてきませんでした。

全国的にサクラの名所である青森県弘前市にある弘前公園のサクラの剪定技術が普及するに従い、サクラも適切に剪定を行い、花芽の分化の促進や樹勢の回復を進めるようになりました。

サクラの剪定時期は、①剪定された枝の傷口(切口面)の癒合が早い時期、②蓄積された貯蔵物質の損失や、光合成による蓄積生産物などの消

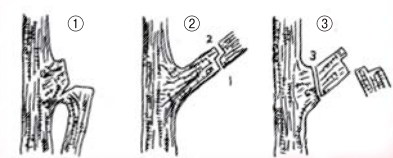
費減少が少ない時期であることがあげられます。

この2点を山形県に当てはめてみると、11月上旬から3月中旬頃の休眠期に入ります。いわゆる、冬期間が剪定適期になります。この時期でも、大枝などを選定した場合には、切口からの腐朽防止のため、切口面に塗布殺菌剤※などを塗り、切傷治癒の促進を図ることも大切です。

大枝を一度に切ろうとすると、枝先端の重さで切口の付け根部分から樹皮と共に裂け、切口部分の損傷を大きくして、切口から腐朽が進行してしまいます。(図1-①)

そこで、一度剪定部位より先端で枝先を切り落とし、その後、枝の付け根の部位で切り落とす「二段伐り」を心がけてください。(図1-②③)

〔図1〕



さて、剪定作業を行う上で一番大切なのは、作業服装をきちんとし、保護帽(ヘルメット)を着用し、脚立や梯子をしっかりと据え付け、ロープで固定し、安全に行ってください。

サクラは、手をかければ元気になり、美しい花を咲かせてくれます。

※塗布殺菌剤は、ホームセンターなどで入手できます。商品名：トップジンMペースト等が手ごろです。

桜は私たちの心のふるさと

最上川文化・地域経済活性化部会 部会長 本間 義衛

桜ほど人びとからこんなに愛されている樹木はないかと思ひます。立春を迎えると桜前線が待ち遠しいものです。

当フォーラムでは、震災復興を願い、東北に八十八カ所、県内には三十三カ所の「桜の

札所」を選定しておりますが、他にも立派な桜の名所がたくさんあります。ぜひ足を運んでいただき、花を愛で地域の方々との交流を深めていただきたいと思います。

先人たちは植栽と手入れをしながら立派

な桜の公園を創ってきました。私たちが先人に習い、樹木医を県内の市町村に派遣し桜を守り育てる活動を行っております。これからも会員皆様のご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

東日本大震災復興支援プロジェクト東北・夢の桜街道

東日本大震災から5年。“桜”を東北復興のシンボルに掲げ、観光振興による地域づくり運動を推進してきた「東北・夢の桜街道推進協議会」のプロジェクトも折り返しの年を迎えます。

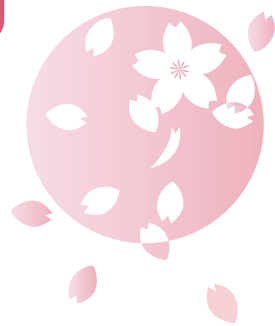
大震災の翌年から、桜の札所で毎年開催してきた、語り部・平野啓子さんによる「美しき桜心の物語」語り会。平成27年度は、青森県弘前市で行い、八十八札所弘前公園の桜に会いに行く桜旅を楽しんでいただきました。

プロジェクト発足から5年を迎え、これまでの活動の紹介をしながら、改めて東北の魅力、未来について検討し、全国に発信して行こうと、平成27年10月27日、南陽市文化会館のこけら落とし事業として「東北・桜サミット～桜がつむぐ東北の未来」を開催しました。

サミットでは、桜街道に加え、東北を巡る旅の提案「東北酒蔵街道」を発表。

東北6県から80の酒蔵が参加し、店頭販売か試飲、蔵の見学のいずれかが可能となります。山形県からは17酒蔵。県内各地域、それぞれの酒蔵で違った出会いが楽しめます。また、新作アプリ「クラカラ」は、参加酒蔵の銘柄ラベルをスマートフォンで撮影すると、酒蔵周辺の観光スポットの情報が表示されます。ぜひダウンロードして、四季折々の東北へ足をお運びください。

協議会では、東北全体のインバウンド、観光振興、地方創生につながるよう、連携を通じて6県が尚いっそう結びつくような仕掛け作りに取り組んでいきます。



東北・夢の桜街道 ～桜の札所・八十八カ所巡り 桜の札所・番外編(山形県内)

これまでの八十八カ所に、新たに番外編が二十カ所加わりました。スタンプラリー帳は、フォーラムまでお問い合わせ下さい。



桜の札所・番外編13番
まほろばの緑道
(高島町)
東置賜郡高島町山崎・高島地内

同・番外編14番
田屋の一本桜
(金山町)
最上郡金山町金山田屋

東北への思いと期待

東北・夢の桜街道推進協議会 事務局長 宮坂 不二生

東日本大震災を目の当たりにして、美しい多摩川フォーラムと美しい山形・最上川フォーラムが、東北復興支援のために連携して立ち上げたのが『東北・夢の桜街道運動』で、推進組織が「東北・夢の桜街道推進協議会」です。東北が定住人口減少という構造問題を抱える中、早期に東北の面的再生を図るためには、「交流人口の増加」(＝観光振興)が鍵と認識し、日本人が愛してやまない“桜”をシンボルに、「桜の札所・八十八カ所」を新たに選定し、多くの方に桜旅で東北を巡っていただこうと考えました。もともと東北各県は独立性が強く、連携性が弱くよく指摘されますが、民主導の官民広域連携の当協議会(現在は国5省、東北6県、都の行政のほか、交通・旅行会社、金融機関、事業会社、団体等56会員が参加)は、東北を一体で応援しているのが強みです。お蔭様で『東北・夢の桜街道運動』は目覚ましい発展を遂げております。

具体的には、桜の紹介ホームページ、桜旅の新品、スタンプラリー等により、国内旅行者客の増加に努めたほか、3年目には震災後激減したインバウンド(訪日外国人観光客)の回復に努め、特に、観光庁と連携した

「台湾の春の訪日キャンペーン」では、台北の地下鉄車内外にラッピング広告を施した「東北・夢の桜街道号」を1か月間走らせ、前年を3割方上回る訪日実績(取扱旅行社ベース)を上げました。

こうした中、全国津々浦々での地方創生論議の高まりや、利益を追求する企業としてのCSR(企業の社会的責任)による支援継続の限界性等から、東北復興支援意識が希薄化し、“記憶の風化”が進んでいるのが実情です。そこで、当協議会では、これまでの運動を総括すると同時に、復興支援への関心を再び高める施策を展開するため、昨年10月、観光庁や東北6県の幹部を山形県南陽市にお招きし、東北復興支援シンポジウム「東北・桜サミット」を開催、『四季“感動”の東北往還道』構想を発表しました。その第1弾が、秋からの新酒シーズンに酒処東北の酒蔵と絡めて紅葉や温泉地を巡る「東北酒蔵街道プロジェクト」で、今春開発した「東北酒蔵旅ナビ(&桜旅ナビ)」やWEBを武器に、運動を本格化させます。今後は、夏の「東北祭り街道」、冬の「東北雪見街道」を順次策定する計画です。東北の桜、祭り、酒蔵、雪を縦系に、既存の観光資源を横系に編み込めば、ストーリー性のある

魅力的な体験型の東北観光周遊ルート(東北往還道)が完成します。美しい東北の四季を一つでも往還すれば、インバウンドはリピーターになることでしょう。

翻って山形県は、フルーツ・漬物・蕎麦王国で、最上川文化、芋煮文化、温泉、蔵王、月山、草木塔など観光資源は東北随一です。今後は県内の企業や金融機関と連携し、率先して山形発の『四季“感動”の東北往還道』を考案し、地域創生に繋げていくことが期待されます。





美しい山形を未来の子どもたちへ②

スポーツGOMI拾い

環境保全活動にスポーツの要素を取り入れ、楽しみながら環境について関心を高める機会を持ってもらおうと、平成25年度より山形県の委託を受け、山形県内各地で開催を行っています。平成27年度には延参加者数1,270名、大会数は23回を数えました。お孫さんと共に参加される多世代チーム、中学生高校生のボランティア、企業や友人とチームを組んでトライする社会人とどなたでも気軽に参加いただける社会貢献活動として、開催の輪を広げています。フォーラムでは、平成27年に「スポーツGOMI拾い山形支部」を立ち上げ、大会

のより安全な運営と、団体や企業から開催の要望があった際のサポート、啓発事業を行っています。美しい環境を守り伝えていくためには、子どもの頃から「捨てない」意識を持つことが大切です。

合言葉は「ごみ拾いはスポーツだ!!」。

大会情報はフォーラムホームページでお知らせしています。ぜひお気軽にご参加ください。



※スポーツGOMI拾いを開催して下さる法人、団体、個人の方を募集しています。事務局までお問い合わせください。

「GOMI拾い」はスポーツだ!!

7月26日私は、スポーツGOMI拾いに参加しました。スポーツGOMI拾いは、かんきょうほうし活動だったものが、「GOMI拾い」と「スポーツ競技」をいっしょにすることで、参加者が楽しくGOMIを拾いかんきょうを意識する事が目的です。

スポーツGOMI拾いに参加したのは、今年で2回目、1回目はお父さんと、2回目はスポ少の仲間と参加しました。チーム名は「ギャルチーム」です。その日は、とても暑くて熱中しょうに気を付けながら、GOMIを拾いました。

拾うGOMIの内容は、燃えるGOMI、燃えないGOMI、タバコのすいがら、リサイクルGOMI、そだGOMIです。

23チーム参加したなかでわたしたち、ギャルチームは5位でした。拾ったGOMIの中でも燃えるGOMIが一番多く、全チームの中でも1位でした。GOMIは種類によってポイントが決められていて、一番高い点数がタバコのすいがらだったのです。

GOMI拾いなんて、最初はいやだなあ~と思っ

新庄市立新庄小学校 5年 大場 彩花

ていたけれども、スポーツとしてGOMI拾いをきそい合うことで、街の中もきれいになり、地球に良い活動をしていると感じるようになりました。

来年はクラスの友達もきそい、地球、かんきょうに役立つ活動を広めていきたいと思つ



※作文は、新庄商工会議所女性会主催「小学生環境・エネルギー問題作文・絵画コンクール」で最優秀賞に選ばれました。

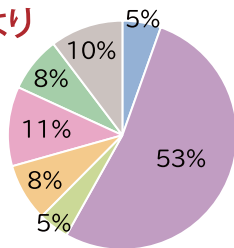


スポーツGOMI拾い参加者アンケートより

参加者は、10代（主に中学生、高校生）の参加が多く、参加後のアンケートでは、「目に見えない場所へのペットボトルやタバコのポイ捨てなどが予想外に多く、マナーの悪さについて残念に思う」「継続的に参加したい」「自分もGOMIを出さないようにしたい」などの声が多く寄せられています。

【参加者年齢】

- 10歳未満
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代



参加者からの声 ●思った以上にたくさんのGOMIがあって、拾って気持ちが良くなった。見た目にはキレイでGOMIなんてあまりないと思っていたけど、よく見たらいろんなところにたくさんあっておどろいた(10代女子) ●昔に比べるとタバコのGOMIは少なくなったが、ペットボトルは多い。時代と共に落ちているGOMIも変化している。初めて参加したが夢中でGOMIを拾った。やはりスポーツGOMI拾いだ!!(50代女性) ●以前は義務的に参加していた定期清掃だったが、スポーツGOMI拾いの形になってから意欲的に取り組んでいると感じる。互いの交流を深めることが出来、良いイベントだと思う(30代女性他) ●参加したことで友達とより仲良くなれ、とても楽しくGOMIを拾うことが出来た(10代女子)

紙芝居づくり

最上川にまつわる地域の話を伝え残したいと、地域部会で製作しています。地域の方たちが集い、わいわいと話した中から生まれる物語を地元の方がまとめ、絵を描き、出来上がった作品を方言で読む紙芝居には、他にはない迫力があります。これまで製作された白鷹町の「お羽黒様の大杉物語」、長井市の「最上川を渡る獅子」に加え、この度尾花沢市の猿羽根大橋にまつわるエピソードをまとめた「光る雪の軌跡」が完成し、尾花沢市立福原中学校で初お披露目をしました。脚本、絵は尾花沢市の阿部勤さん、読み手は尾花沢市地域おこし協力隊若林吾朗さんです。いつも身近にある最上川、そこに橋が架かるまでの物語を見つめる中学生たちの瞳の光が印象的でした。紙芝居づくりは、最上川を辿って庄内地域でも進んでいます。出来上がった紙芝居は、フォーラムホームページで配信中です。製作に参加したい方大歓迎、貸し出しなども行っています。



舟運文化シンポジウム

地域文化の掘り起こし、県内外の皆様へ発信、各地域での情報交換、交流を行いながら、次の世代に美しい元気な山形を継承する取り組みの一環として平成16年から隔年開催しています。平成27年度は酒田市を会場に、前財団法人本間美術館館長・前鶴渡川原人形伝承の会会長高瀬靖氏による基調講演「酒田湊(みなと)と雛(ひいな)の縁(えにし)」、平松緑氏(東北公益文科大学教授)、小松尚氏(御菓子司小松屋代表取締役)、松本典子氏(山形食べる通信編集長)と多彩なパネリストを迎えてディスカッションを行いました。紙芝居の上演や舟運文化にまつわる展示コーナーも設け、置賜や最上地方からも参加者が集い、最上川がもたらした素晴らしい恵み、貴重な文化資産、山形の魅力の発信の仕方などについて意見が交わされました。



美しい山形を未来の子どもたちへ③

美しい山形クリーンアップ・キャンペーン

水辺や海岸に散乱するゴミの多様な原因への対策をみんなで考え、一緒に行動するための第一歩としてゴミを拾うだけでなく、実態調査を行っています。水辺に散乱するゴミの多くを占めるプラスチックは、重大な地球環境問題となっています。平成27年度は、山形県内で約1,350名が参加しました。調査

結果は、クリーンアップ全国事務局が毎年『クリーンアップキャンペーン・レポート』にまとめ、散乱ゴミ削減のための資料として役立てられています。クリーンアップ、水辺の健康診断の結果はホームページでご覧いただけます。



身近な川や水辺の健康診断

平成27年度は93団体、985名が250箇所を調査しました。身近な水辺での活動を通じて水辺の魅力や課題を発見し、大切に守り伝えていくための具体的な取り組みにつなげていこうとするものです。誰でも簡単に水質の検査ができる器材(パックテスト)や透視度計による測定に水辺環境の目視調査を加え、「水辺診断書」による総合的な評価をしています。



もがみがわ水環境発表会

参加される皆さまにとって情報交換や交流の場になるとともに、県内の河川や湖沼及び沿岸海域を含めた水環境に対する関心や認識を深めていただく機会となっています。平成27年度は、11月7日に山形市の山形県産業創造支援センターを会場に約100名の方々に参加していただき開催しました。口頭発表8団体、小学生のかべ新聞を含むポスター発表10団体の発表に加え、山形大学農学部助教梶原先生から基調講演をいただきました。

「身近な川や水辺の健康診断」に継続して参加するとともに、水辺の環境向上への具体的な活動をしている団体、環境教育に貢献している団体の皆様を平成21年度から「美しい水辺づくり功労賞」として表彰しています。平成27年度は9年継続参加の鶴岡市立五十川小学校、7年継続参加の山形県立新庄北高等学校科学部の2団体が受賞されました。



参加団体活動紹介

長瀬・二の堀を愛する会

会長 植村 富雄



村山盆地の北方、圃場整備された水田の中に、ほぼ四角形に形成された集落、東根市長瀬地区があります。戦国期に城郭集落として整備されたこの地区には他に誇れるものがあります。それが、地区内をめぐり、水を満々と湛えた二の堀跡です。

私共(長瀬・二の堀を愛する会)は設立以来、こ

の水辺の景観を愛し、慈しみ、育てることを主目的に、定期的に清掃・水質調査を行っています。二の堀が持っている価値観を育ててもらえればとの願いを込めて今年度は、長瀬小学校5年生の児童にも参加していただき、一緒に活動することができました。子どもたちも試薬を扱う作業に、瞳をキラキラさせていました。

フォーラムを共に遊び、学ぶ場に

清流・環境対策部会 部会長 菅原 幸司

当フォーラムは、「最上川」をシンボルに掲げ、「美しい元気な山形づくり」に取り組んでおりますが、より多くの方々に楽しく参加していただくために、将来に対する明るいビジョンを示しつつ、幅広い人たちとのコミュニケーションを取りながら、これまでの活動を地道に継続し続けることが大切であると考えています。継続は力なりと言いますが、繰り返し続けることにより、やっと広まり浸透するものでしょう。

環境への新たな負荷の発現・増大、生物多様性の毀損の拡大等々、組織の力量との兼ね合いにはなりますが、「美しい山形」づくりのために向かい合うことが期待される課題は多くあります。

私たちを取り巻く水環境は、親水空間にも環境教育の場にもなります。最上川がそうであるように、フォーラムを共に遊び、学ぶ場として発展させていきたいと思っております。



地域から発信！元気な山形づくり ～地域部会活動～

●置賜地域部会

会長 竹田 仁



「こんなに雪のない冬は生まれて初めて…」と皆さん思ったことでしょうか。しかし功罪相半ばすると言います。夏場の飲料水、今年は足りるのでしょうか。私の住む南陽市上水道はかつて綱木川ダム完成まで、長井市に在ったポンプ場から最上川の流水を汲み上げたものでした。消毒の臭いがして煮沸しないと、私は飲めませんでした。

今後数十年経ったら、家庭や工場の排水基準が厳しくなり(簡便な浄化方法が発明されて)、最上川の水を直接口にするのが出来るようになればいいと思います。加えてもう一つ。魚捕りの胴のような形をした水車での発電です。小学生の時、飯豊山荘に行きました。台風による悪天候。部屋には初めて見る油のランプがぶら下がっていました。ところが、暗くなったら部屋に裸電球の明かりが。翌朝、発電機の説明を先生から教わりました。急こう配の沢に直径30cm位の鉄管が置いてあり、中には螺旋のスクリューが入っていました。沢水がスクリューを回し電気ができるのです。いずれ、最上川沿岸の地区のクレーバー達が地区ごとに発電機を設え、みんなで楽しめる時代は来ないもののでしょうか。最上川万歳!そんな日が来ればいいと思います。

●最上地域部会

会長 齋藤 正昭



新庄盆地は昔から湧き水がとても豊富でした。「今はどうなっているのだろう?地域の宝として守っていききたい。」という願いから平成16年から現地調査や資料収集、写真撮影などをして平成19年に「もがみの湧水」マップを作成しました。

調査を始めてから10年ほど経過していることから、一昨年から数年がかりで補完調査を実施しています。今年度は最上町を調査する予定でしたが、県から湧水地の案内依頼があり新庄市1か所、大蔵村2か所、金山町2か所、真室川町2か所を調査しました。

県では平成27年度から「里の名水・山形百選」の募集を開始しました。補完調査した場所では、標柱がなくなっていたり周囲が雑草で覆われてしまっていたりなど管理が十分に行われていないところがありました。

県のこの募集がきっかけになって、それぞれの地域で湧水に対する関心が高まり、憩いの場・地域のシンボルとして、また災害時の給水の場としても活用できるよう保全・管理の取組の輪が広がることを期待し、地域部会でも働きかけていきます。

●村山地域部会

会長 佐竹 良廣



昨年の11月、尾花沢市福原中学校で行われた紙芝居「光る雪の軌跡」の初披露会に参加させていただきました。大正時代に毒沢で渡し舟(「むかさり舟」)の転覆事故で命を落とした花嫁の悲しい話から始まり、昭和41年に渡し舟の危険解消を訴えた地元中学生の新聞への投稿がきっかけとなり、昭和

48年に猿羽根大橋の建設に至るまでの紙芝居でした。このように、河川に架けられた橋の一つひとつに歴史や物語があるのではないのでしょうか。人と人をつなぐ「橋」のある風景、豊かで親しまれる美しい山形の自然を次世代に残していくために、地域で、地道ながらも継続した環境保全活動を実施していく必要があります。

今後、村山地域部会では、他の地域部会でも実施されている「桜の維持管理研修会」を行政(市町)、団体、専門家の協力をいただき実施していく予定です。

さらに、農地環境保全団体など他の環境関連団体との連携した環境学習会の検討、水辺の健康診断のサポートなど積極的に関わって事業を実施したいと考えております。

また、引き続き「スポーツGOMI拾い」や「やまがた環境展」へスタッフとして参加していきます。

●庄内地域部会

会長 原田 清廣



桜は春の喜びを運んでくれます。桜を見れば人々の心ははなやぎ、心が豊かになります。桜ほど人々に愛好されている花はありません。

昨年初冬、ある農園主から最上川の堤防の松山地区と平田地区の桜を剪定してもいいがどこで管理しているのだろうとの問合せがありました。平成9年頃から継続して植樹されたもののようですが、現在は関係者が不明で放置されている状態です。

桜の植樹を奨励し、桜の名所を増やそうという活動も盛んです。植樹のイベントには人が集まり賑やかに行われますが、その後の育成管理が行き届かず、年とともに放置されている所も多くあります。古い木々の所は藪のようになって、桜が泣いている所もあるようです。

せっかく植えた桜。元気に育てたいものです。何とかよい方策はないものなのでしょうか。

・まとまった桜のある場所と実体を調査し、桜所を一覧をつくり状況を把握する・管理者が不在の所は、手入れが出来るような方策を考える・桜守となれる人が近くにいないか・剪定その他作業の協力業者を募り、剪定した枝を商品化出来る物は利用し、最低限の費用を補償する

課題は多くありますが、まずは実状把握の調査活動から始めたいと思っています。

美しい山形・最上川フォーラム

会員募集

みなさんの手で、美しい元気な山形に

・web、メールマガジンでも情報発信中!!

入会方法

- ① ホームページ内「入会案内」より申込み用紙をダウンロードし、必要事項を記入して投函してください。(切手は不要です)
 - ② ホームページを使つての申込みが難しい場合は、事務局までお問い合わせください。
- ホームページアドレス <http://www.mogamigawa.gr.jp/>

年会費

個人会員様 (1口) 1,000円
法人・団体会員様 (1口) 3,000円

問合せ連絡先

美しい山形・最上川フォーラム事務局
〒990-0041 山形市緑町1-9-30 緑町会館
TEL 023-666-3737 FAX 023-666-3738
E-mail info@mogamigawa.gr.jp

私たちは、美しい山形・最上川フォーラムを応援しています。

協賛金融機関

山形銀行
 荘内銀行
 きらやか銀行
 山形信用金庫
 米沢信用金庫
 鶴岡信用金庫
 新庄信用金庫
 北郡信用組合
 山形中央信用組合
 山形第一信用組合
 JAバンク山形県

県内35全市町村

米沢市 長井市 南陽市 高畠町
 川西町 小国町 白鷹町 飯豊町
 山形市 寒河江市 上市市 村山市
 天童市 東根市 尾花沢市 山辺町
 中山町 河北町 西川町 朝日町
 大江町 大石田町
 新庄市 金山町 最上町 舟形町
 真室川町 大蔵村 鮭川村 戸沢村
 鶴岡市 酒田市 三川町
 庄内町 遊佐町

団体、法人、行政会員

アーキネット
 秋葉商店
 秋保建設
 朝日測量設計事務所
 アサヒビール山形支社
 アドバンビル
 安孫子会計ビジネスサービス
 安孫子工務店
 有馬館
 ALSOK山形
 イガラシ機械工業
 池内熊治商店
 池田内科医院
 石川建設産業
 いそのポデー
 井出コンタクトレンズ
 稲毛工務店
 井上精工
 イベントプロデュースガッツ
 羽州かみのやま桜の会
 うろこや総本店
 エイコウ
 エコナビゲート
 エヌエス環境山形営業所
 NTT東日本山形支店
 遠藤会計事務所
 遠藤産業
 遠藤土建工業
 おいたまサロン
 大江町商工会
 大風印刷
 大久保地区元気な街づくり推進協議会

太田建設
 オーディオ・ビジュアル・システム山形
 大沼
 大場印刷
 岡崎医療
 荻野建設
 奥山経営センター
 小国ガスエネルギー
 海鋒資材センター
 花開瞭鈴木医院
 柿崎建設工業
 カスタムロード
 和美屋
 葛籠運輸建設
 カトウ衛生企業
 神室工業
 河嶋や金物店
 川田酒店
 環境管理センター
 環境再生さくらぎの会
 環境U-ネットやまがた
 管製作所
 菅藤学園
 カンベ
 杵屋本店
 キムラ建築
 協同組合山形流通団地
 協立計装工業
 くまがい
 グリークアパーク
 クレオパトラ東北販売
 黒滝会
 黒滝展望公園・下山ロマン街道の会
 ケア・ワールド
 ゲンジ蛭とカジカ蛙愛護会
 公益のふるさと創り鶴岡
 心のふるさと新井田川の会
 コシカ
 壽星
 コバヤシ機工
 小松建設
 小松ゴム商会
 小松写真印刷
 コマツ山形
 近藤工業
 今野紙工
 蔵王警備保障
 ザオー測量設計
 寒河江印刷
 寒河江川川土地改良区
 さがえ西村山農業協同組合
 酒田商工会議所
 櫻井建設
 櫻田ボーリング
 佐藤建設
 佐藤税務会計事務所
 佐藤松兵衛商店
 さのや
 三共開発

三光社
 三郷塚土地改良区
 三幸ソーイング
 三和技術コンサルタント
 三和フードサービス
 J e s 設計
 JTB東北山形支店
 シェルター
 シー・アイ・シー
 四季の住まい
 慈心会井出眼科病院
 シンベル
 商工組合中央金庫山形支店
 庄司自動車工業
 庄内環境保全協同組合
 庄内測量設計舎
 菖蒲園
 白鷹町観光開発
 城西電工
 新庄・最上環境会議
 新庄砕石工業所
 新庄商工会議所
 真和商会
 翠紅園
 水陸会
 菅野測量設計
 菅原工務所
 スズキ印刷
 鈴木製麺所
 鈴木測量事務所
 瀬野製作所
 セブンスエレクトロ
 仙英学園ゆりかご幼稚園
 千成興業
 千門町蛭の会
 そば処吉亭
 第一タクシー
 高島電機
 高梨製作所
 高橋畜産食肉
 高畠町商工会
 高実工務店
 竹田組
 田村技研工業
 田村測量設計事務所
 立谷川工業団地協同組合
 丹野
 丹野ごんじやく
 千歳学童保育クラブ
 中央清掃
 (株)中央タクシー
 中央タクシー(株)
 チュチュ
 つたや
 土谷
 鶴岡商工会議所
 鶴岡舟番所
 ディティール・ギャラリー
 テトラス
 テレサインターナショナル
 出羽屋
 電制
 天童環境
 天童商工会議所
 天童ライオンズクラブ
 でん六
 トーホー
 東部電機
 東邦砕石ホテルサンチェリー
 東北医療機器
 東北環境開発

東北地域づくり協会山形支所
 東北公益文科大学
 東北サイエンス
 東北食糧
 東北電化工業
 東洋精機製作所
 富樫管工建設
 トブコン山形
 ドモス
 長井商工会議所
 長岡造園
 ナカムラ
 中山町商工会
 那須建設
 ナチ東北精工
 名取精機
 並木工務店
 南風学園あおぞら幼稚園
 西川企業
 西屋旅館
 日興製作所
 ニッコウ電機商会
 日東ベスト
 日本環境科学
 日本地下水開発
 農林中央金庫山形支店
 農村證券山形支店
 野村佛壇店
 ハイスタッフ
 ハイテックシステム
 白蝶ビル
 蜂谷建設
 葉山建設
 東沢ホテルの会
 東日本高速道路山形工事事務所
 フィデアカード
 桧町アダプトの会
 福井建設
 富士鉱油
 藤庄印刷
 プッシュ建設
 ブナの森
 ブライダル大内
 プロスパーマルイ
 ボランティア・カムロ
 本多アルミ
 本間利雄設計事務所
 真下慶治記念美術館
 升川建設
 松岡
 丸市運送
 丸江製作所
 マルコウ環境
 丸十大屋
 丸好興建
 水澤化学工業水沢工場
 南山形愛育会 南山形すくすく保育園
 ミヤマ金属
 宮村産業開発
 ムラヤマ
 メイク美装
 メカニック
 メディカルプラザ山口医院
 最上川土地改良区
 最上峽芭蕉ライン観光
 最上振興
 モンテディオ山形
 門間医院
 八沢川せらぎ公園愛護会
 矢萩土建
 山形ガス

山形ガス管工
 ヤマガタ共同
 山形グランドホテル
 山形経済同友会
 山形県JAビジネス
 山形県医師会
 山形県印刷工業組合
 山形県環境整備事業協同組合
 山形県環境保全協議会
 山形県観光物産協会
 山形県企業振興公社
 山形県計量協会計量証明部会
 山形県建設業協会
 山形県砂防協会
 山形県商工会議所連合会
 山形県商工会女性部連合会
 山形県商工会連合会
 山形県浄化槽工業協会
 山形県情報企画課親交会
 山形県信用保証協会
 山形県森林組合連合会
 山形県水質保全協会
 山形県水質保全協会青年部
 山形県測量設計業協会
 山形県治水協会
 山形県土地改良事業団体連合会
 山形県内水面漁業協同組合連合会
 山形県農業機械工業協同組合
 山形県農業協同組合中央会
 山形県みどり推進機構
 山形県理化学分析センター
 山形故紙センター
 山形酸素
 山形商工会議所
 山形タクシー
 山形日産自動車
 山形ひかりのくに社
 山形南生活総合センター
 山形冷暖
 山形ロータリークラブ
 山形ワシントンホテル
 山喜建設
 山岸板金工業所
 山口の里づくり
 山崎商事
 ヤマザワ
 やまり
 ユーキセツサク
 遊学の森案内人会
 米沢商工会議所女性会
 ユーシン不動産
 ユニカ技研
 鷹山会
 米沢酒類販売
 米沢商工会議所
 理研分析センター
 ローマン
 ワイエム技研
 渡辺電気工事
 渡辺螺子
 山形県
 国土交通省山形河川国道事務所
 国土交通省酒田河川国道事務所
 国土交通省新庄河川事務所
 国土交通省最上川ダム統合管理事務所
 林野庁東北森林管理局山形森林管理署
 庄内森林管理署
 山形森林管理署最上支署

平成27年12月現在
 ※敬称略、順不同

切り取り線

美しい山形・最上川フォーラム 会員証

会員No.

Name.

美しい山形・最上川フォーラムは、最上川をシンボルに
 美しい元気な山形づくり運動を進めています

会員No.は案内封筒に記載してあります
 2016発行